

# 株式会社南武（東京都）

【金型用油圧シリンダー、鋼板巻き取り用ロータリージョイント・ロータリーシリンダーおよび関連付属品の開発・製造】

商工会議所のイチオシ  
女子高出身者を  
ものづくりの世界へ！  
野村社長の取組をご紹介します



LEADER

## 代表取締役社長 野村 伯英 氏

東京都大田区で特殊油圧シリンダーなどの製造・開発事業を展開する株式会社南武。10年ほど前から女性技能者を採用し、「ドリルガール」と呼ばれる女性専門職を育成している。代表取締役社長の野村さんは、「男性の世界」というものづくり現場の先入観を打ち破り、世界と技術を競う優秀な人材の育成に積極的に取り組んでいる。

### ものづくり現場の常識を打ち破り、 「ドリルガール」と呼ばれる女性専門職を実現！

#### ■背景・きっかけ：「ドリルガール」の誕生

日本最初の油圧シリンダー専門メーカーとして、1955年に創業。東京都大田区に本社工場を置き、新製品の開発や生産技術の改良・向上に取り組むと共に、タイや中国など海外にも進出。精度・強度・耐久性などのバランスに配慮された優れた製品・技術を提供することをモットーに、事業を展開している。

当社の本社工場の製造現場では、「ドリルガール」と呼ばれる女性技術者が活躍する。人手不足が深刻になると判断して、16年程前から、近隣の女子高出身者の採用を始めた。それまで、毎年工業高校の男子学生を採用していたが、徐々に希望者が減り、ついにはゼロに。汚い・きついという町工場で働きたくないということからだった。そのような時、地元女子高から、職人になりたいという女子生徒がいるとの話を聞く。体育系の部活に所属し、体を動かす仕事に就きたいと考えていた女子生徒は、きびきび働く職人の姿を見て、自分にぴったりだと思ったそうだ。職人になりたい女の子などいないと思っていた当時の社長（現会長 野村和史氏）は、後継者問題に頭を悩ませるものづくり業界において、嬉しい出来事であったと言う。このようにして誕生した初代「ドリルガール」。以降、継続的にもものづくりに関心を寄せる女子高出身者を採用している。



#### ■取組内容・効果：短時間で精力的に働き生産効率を高める

工場に女子トイレを作り、倉庫を休憩室に改装し、ドリルガールを迎え入れた。女性の活躍も念頭に置いて、コンピューター制御による機械の導入を進めたほか、整理整頓などの製造現場の「5S」も充実させた。仕事と家庭の両立に励む女性社員には、「業務は17時まで、残業や休日出勤もなし」という異例の待遇も措置した。



- ▶ ものづくり現場の常識に囚われず、女性の意欲を後押しし、積極的に挑戦の機会を提供
- ▶ 短時間で精力的に働く環境を整え、生産効率の引上げを実現
- ▶ 女性が働きやすい職場環境・働き方は、男性にも高齢者にも働きやすい職場を実現する

男性の世界ともいわれるものづくり現場の中で、当初は不信や心配の声も挙げられた。危険な現場で、女性が働くというのはなかなか受け入れ難い。だが、ひたむきに技術の習得に励むドリルガールの姿に、「技は盗むもの」と考えていたベテラン職人も次第に勉強会を開くなど、彼女たちを受け入れてくれるようになった。基礎から真摯に技能の習得・向上に取り組む、短時間で精力的に働くドリルガールたち活躍は、本社工場の生産効率を高めることにも繋がっている。



#### ■今後の展望：女性が働きやすい職場環境は、男性・高齢者にも働きやすい

現在、初代ドリルガールは現場主任を任せるまで成長し、仕事と家庭・子育てを両立しながら活躍している。当社では総務や営業、設計等の担当部門においても、女性社員が管理職を務めるなど、女性の活躍は現場においてなくてはならない存在となっている。当初、女性に働きやすい職場環境を目的に取り組んだ休暇制度の充実も、男性も含め多くの若手社員に歓迎された。女性が働きやすい職場環境は、高齢者はもちろん、男性にも働きやすく魅力的な職場を実現する。企業や現場にとって異色で困難な取組も、継続的に尽力、浸透させることで効果は表れるものと思う。



#### 【企業データ】

代表者	代表取締役社長 野村 伯英	会社設立年	昭和16年	従業員数	115人(うち女性25名)
本社所在地	東京都大田区荻中3-14-18	ホームページ	<a href="http://www.nambu-cyl.co.jp/">http://www.nambu-cyl.co.jp/</a>		
事業内容	金型用油圧シリンダー、鋼板巻き取り用ロータリージョイント・ロータリーシリンダー、および関連付属品の開発・製造等				

中小企業の実践  
ポイント